

会議記録

- 会議名 令和6年度 第1回丹波市社会教育委員の会議
- 日時 令和6年5月23日(木) 13:30~15:35
- 場所 丹波市役所本庁第2庁舎 ホール
- 出席者 「出欠票」のとおり
- 内容
 - 1 開会(社会教育・文化財課長)
 - 2 あいさつ(教育長)
 - 3 委嘱書の交付(教育長から各社会教育委員)
 - 4 自己紹介
 - 5 役員選出
 - (1) 丹波市社会教育委員の会議
議長
⇒荒木伸雄委員を選出
副議長
⇒森奥和代委員を選出
 - (2) 丹波地区社会教育委員協議会
副会長
⇒荒木伸雄議長を選出
理事
⇒森奥和代副議長、山内順子委員を選出
 - (3) 兵庫県社会教育委員協議会
代議員
⇒細見勝委員、橋本千英委員を選出
 - (4) 第2期丹波市生涯学習基本計画審議会
⇒橋本崇史委員を選出
 - (5) 丹波市まなびの里づくり協議会
⇒足立まゆみ委員を選出
 - (6) 丹波市立隣保館運営委員会
⇒森奥和代委員を選出

6 報告事項

(1) 令和6年度社会教育事業計画について

- ・担当課長から説明（P10～P13）

【質問・意見】

委員	地域学校協働活動推進員の配置の割合はどのようになっていますか。
社会教育・文化財課長	現在、11校、11名です。うち中学校については2校です。
委員	現状、全校には配置できていませんが、配置するための方法はどのように考えられていますか。
社会教育・文化財課長	昨年度は、未配置の学校長に対して課題等のヒアリングをさせていただきました。前向きに考えて頂いている学校もありました。 また、学校支援サポーターと事業の調整を行えないかということを含めて令和7～8年度を目途に全校配置をしたいと考えています。それに向けた研修会を今年度実施します。
委員	小学校については、地域とのつながりが深いと考えていますが、中学校と地域のつながりについては深く知りません。また、アントレプレナーシップは、具体的にどのような取り組みなのか教えてください。
教育部次長兼学校教育課長	アントレプレナーシップ教育を挙げているのは、地域の方から学ぶことが大きいということです。子どもたちに起業家になってほしいというわけではなく、チャレンジ精神、創造性、探求心といった起業家精神等を企業の取り組みから学んでいただきたい。 現在では、起業家からの協力を得ながら、自分の校区の地域課題の発見から解決方法について考え、提案するものとしています。主に中学校の総合的な学習の時間に行っていますが、割く時間は学校によってさまざまであり、深度も学校によります。地域の課題をテーマとして取り扱っているため、可能であれば、その地域の方に入ってもらいたいような形をとっています。
委員	小学校の丹波ふるさと学について、各学校でもゲストティーチャーを呼び、さまざまな授業を行われているこ

とは知っています。これについても各小学校によって特徴があると考えています。昨年度の社会教育委員の会議の記録を拝見し、小学校ごとの取り組みを委員の皆様も知りたいとのことでした。まとめられた資料を別の機会にでも共有いただきたいと思います。

委員

丹波ふるさと学をステップアップさせたものがアントレプレナーシップ教育につながっているという認識で間違いないでしょうか。

教育部次長兼学校教育課長

それを理想としています。丹波ふるさと学で地域の方にお世話になり、地域のゲストティーチャーに地域の歴史・特色について教えていただいている段階です。子どもたちが地域に愛着をもつところまでは到達していますが、これを中学校のアントレプレナーシップ教育につなげるために、小学生なりに地域課題の解決策を考える探究的な報告に進めていくような展開についても考えています。

委員

青垣地域では、丹波ふるさと学のテーマとして、丹波布と俳句を取り上げています。小学校では非常に力を入れて取り組んでいます。中学校は教科に重きを置かれており、地域に中学生が出ていくような機会がなかなか無いと思います。これについても地域差がありますか。

教育部次長兼学校教育課長

学校によって取り組みの熱量がさまざまです。基本的に総合的な学習の時間で取り組んでいます。総合的な学習の時間でどの活動に取り組むかは、学校が決めます。ただ、アントレプレナーシップ教育は、丹波市の特色として打ち出していきたいと考えていますので、どの程度時間をかければ、中学生に育みたい資質能力が高められるかというような形を確立させたいといった発展途上の状態です。

議長

授業のカリキュラムについては、先生たちが決めますが、学校運営協議会で小学校と中学校とのつながりの橋渡し等の提案は可能ですか。

教育部次長兼学校教育課長

結論から言うと可能です。また、学校がどの程度主体的にするかについてもその場で話し合います。

委員

自治公民館の取り組みについて、対面でイベントを開催されるような相談も増えてきているということですか。

が、実際のところ昨年度の取り組みを見て、自治公民館活動の様子として以前のように回数が増えてきているのか新たな課題が発生しているのかについて教えてください。

市民活動課長 令和4年度に自治公民館活動補助金交付件数は211件です。令和5年度の数值は確定ではありませんが、249件の申請をいただいている状況です。対面での活動が増えてきていると感じています。

委員 そういった状況の一方で期間が空き、以前の活動をすることに負担感がでてしまう状況から自治公民館活動が縮小していることが新聞紙面からうかがえます。社会教育活動として非常に大切な取り組みだと思えます。昨年度の取り組み等について、これからも情報の共有をお願いします。

・担当課長から説明（P14～P16）

【質問・意見】

委員 市制20周年記念の事業の絵本作家による記念講演会について、決まっていることがあれば具体的に教えてください。

社会教育・文化財課長 現時点では、詳細は決まっていません。講師依頼を考えていた方から断りの連絡があり、講師選定から再スタートという状況です。委員の皆様からも講師の紹介をしていただきたく思います。

委員 丹波市の図書館のあり方に期待しています。
丹波市には、学校司書の配置がありません。そのような状況で公共図書館ができる役割があると考えます。公共図書館と学校図書室との連携として何か考えていることはありますか。

社会教育・文化財課長 昨年度から公共図書館から学校図書館に対し、取り組みに関する提案をさせていただいています。それをつなぐ学校図書サポーターがいますので、少しずつですが、連携の取り組みを進めています。まずは、山南中学校から進めており、効果については、情報共有をしていきたいと考えています。公共図書館として、積極的に学校に関わっていききたいという思いです。

委員	『わっと！みゅーじあむ』について、図書館が含まれていることは、丹波市ならではの取り組みで素晴らしいとは思いつつも、やはり、博物館の中に図書館があることが気になります。図書館は図書館法に則っていますので、今後こうした広報物を発行される際には、博物館＋図書館といった方法で発信していただきたいと思いません。
委員	学校図書館について、本の破損が結構あり、先生方のみでは修繕が行き届かない現状があります。今年度可能であれば、学校運営協議会でボランティアを募って修繕をしようと思っていますが、素人であるため方法がわからないといった状況です。一般市民に対して図書の整理や修繕等を教えていただければコミュニティ・スクールの活動で学校図書館を対象とした活動ができ、より良い学校図書館になると思います。そうなることで子どもたちが学校図書館に集まりやすくなります。そのような支援をいただけたらと思います。
社会教育・文化財課長	委員の意見のとおり、学校図書館は本の分類ができていない状況や本の破損があります。修繕方法もありますので、図書館にご相談いただければ、支援させていただきたいと思しますのでよろしく願いいたします。
委員	「読書通帳」について、「本を読むきっかけづくりのツールとなるように積極的な周知と継続的な配布を行うことで読書の習慣づけをさらに推進する。」ということはいつも言われています。他にも何か違う取り組みの形があっても良いのではないのでしょうか。
社会教育・文化財課長	<p>新しい本に出会うきっかけとして3冊セットで貸出をする福袋といった取り組みも行っています。ランダムに本が入っていますのでこれまで手に取ってこなかった本を読むきっかけとなります。</p> <p>しかしながら、有効登録者数は年々減少している状況です。委員の方からも図書館の取り組みとしての提案をしていただければありがたいと思えます。</p>
委員	女子野球について、熱中症対策が甘いように見受けられます。甲子園の方では朝夕の二部制にしてみようと思われていますが、女子野球では何か考えていますか。

文化・スポーツ課長	<p>現状、女子野球で熱中症対策の話はありません。ただ、まだ開催前ですので工夫はしていきたいと思います。</p> <p>一般的な熱中症対策に関しましては、これから実行委員会へ相談になりますが、武庫川女子大学のゼミからご協力を得られる予定があります。熱中症対策や女子アスリートのキャリア形成等の相談を受けていただけるような連携を考えています。当日は、熱中症対策のサポートをしていただけることになっています。</p>
副議長	<p>家読について、コロナ禍の影響もあり、家庭で過ごす時間が増えていますが、今後どのような形で進められる予定か教えてください。</p>
社会教育・文化財課長	<p>決められた方法はありません。家で本を読みましようといった取り組みの広がりをもたせる意味での家読という言い方をしています。読書通帳等を活用し、親子で読書をしていただけるような取り組みの進めということでとらえていますので、1つの制度という形ではありませんが、啓発していきたいと考えています。</p>

・担当課長から説明（P17～P19）

【質問・意見】

委員	<p>家庭教育の「地域ぐるみの家庭教育の意識向上」の重点部分について、コミュニティ・スクールのような学校・家庭・地域が集まり、子どもたちの教育を考える場は大切だと思いますが、具体的にどのような場をつくっていく予定ですか。</p>
社会教育・文化財課長	<p>それぞれの場において取り組んでいただくように啓発をしていきます。</p>
委員	<p>図書館は制度としてサポーターを養成されており、16ページのように大きな項目で市民協働による運営の推進と掲載されています。一方、17ページ「3 歴史民俗資料館の充実」は行数が少ないと思います。現実には、市島民俗資料館は長く閉館している状況だったものを市民協働により月2回開館できるようになりました。実際に活動している者としては、実体を把握し、書く必要があると思います。積極的な校外学習の受け入れについては、文化財のボランティアではなく、市島地域の自治振興会の役員の方たちが間に立ち、校外学習の機会を設けてい</p>

ただいています。まさに学校と地域と施設が一体となり、市民協働で地域の歴史を学んでいくことが現実になされています。現実的にはこのような動きがあることを把握していただき、計画にも挙げていただきたいと思います。

社会教育・文化
財課長

委員の意見につきましては、把握しております。教育委員会内で実施しています自己点検・自己評価では、市島民俗資料館の開館ボランティアのことも触れさせていただいています。令和6年度丹波市の教育実施計画につきましては、市民協働の部分は歴史民俗資料館には記載していませんでした。この部分については、事務局として考えていきたいと思っています。

7 協議事業

(1) 令和6年度社会教育関係団体補助金について

・担当課長から説明

⇒2団体とも提案のとおり承認

8 丹波市の社会教育委員の会議の研究テーマについて

・「社会教育における子どもとの学び」

⇒令和6年度の展開について

【質問・意見】

議長

昨年度、「大人が子どもとの学びをどのように考えてどのように生んでいくのか」という内容を研究テーマとして挙げ、話をしました。

今年度はこのテーマを深めていこうということで提案があります。子育て学習センターを訪問し、そこに参加する方や子育て指導員との話を次回の会議の時間に行いたいと考えています。今年度に関しては、昨年度と切り分けて実施したと思っています。

委員

子育て学習センターの利用者等の話を伺うことはとてもいいことだと思います。実際に子どもに関わる人たちや子どもの様子を地域側から見る機会は人によっては限られると思います。

子育て学習センターだと中心は乳幼児になると思いますが、個人的には小学生程度の年代の子どもの様子を知りたいと思っています。以前から、現在の子どもの放課後の様子が気になっており、アフタースクールの子どもの様子、地域の大人との関わりも気になります。

- 議長 子どもの年代をどこに設定するかは難しいことですが、子育て学習センターの所管が健康福祉部の所管になっています。現在、教育部から離れていることから、話を聞きたいと思っています。確かに小学生の年代の話聞くことも含め全て出来たら良いのですが、時間の都合上不可能です。まず、次回の会議の時間は、子育て学習センターとの意見交換をさせていただきたいと思いません。次回以降の形については、改めて意見を聞きたいと思いません。
- 委員 実際に行って、どのようなことをすれば良いのですか。
- 議長 現時点では特に決まっています。実際に行って、ただ話を聞くということでは目的の統一化が図れませんので、話の内容について、オフミーティングで委員の意見を聞きたいと思っています。
- 委員 子育て学習センターは、親と子どもが両方で学ぶ場所と理解していますが、そこへ行き、親の学びの様子を聞くという解釈で良いですか。
- 議長 はい。その解釈で間違いありません。
- 議長 内容について、委員の意見をいただけるように事務局と相談いたします。

9 その他

(1) 全国・近畿・県等関連行事

- ・それぞれ日程は決定しており、詳細情報が届き次第、社会教育委員の皆さまにご案内します。

(2) 各課からの連絡事項

- ・社会教育・文化財課長から丹波市オリジナルボードゲーム「TMK」完成について連絡。
- ・案内チラシにより各種事業を紹介

(3) その他

- ・次回：令和6年8月23日（金）を予定。
⇒流動的なため、変更の可能性あり。
- ・まなびカフェ（オフミーティング）について
⇒今年度もオフミーティングを開催。参加は自由。

10 閉会（森奥副議長）

令和6年度 第1回丹波市社会教育委員の会議

出 欠 票

NO	氏 名	住 所	
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	出
2	竹 安 今日子	柏原地域	出
3	竹 岡 郁 子	山南地域	出
4	森 奥 和 代	山南地域	出
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	欠
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	出
7	松 本 佳 則	氷上地域	欠
8	蔦 木 伸一郎	氷上地域	出
9	橋 本 千 英	青垣地域	出
10	橋 本 崇 史	青垣地域	出
11	木 寺 郁 代	市島地域	出
12	高 橋 典 子	市島地域	出
13	足 立 まゆみ	春日地域	出
14	細 見 勝	春日地域	出
15	山 内 順 子	春日地域	出